

## 重点2 読書活動の充実

### ねらい

子どもたちにとって、読書は、広い世界を知り自分自身の考えを確かめ高め、豊かな情操を育み調和のとれた人間に成長していく上で、大きな価値のあるものです。

心を育て、ものごとに対する興味・関心を呼び起こし、想像力や、思考力・判断力・表現力などを豊かに育成するものとして、読書活動を推進します。

### 現状と課題

#### ○ 1か月に1冊以上本を読む子どもの割合 (%)

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	平均
平成17年度	96.4	92.0	84.5	81.8	77.1	78.2	74.6	82.4
平成18年度	98.6	96.8	85.4	83.5	84.4	82.2	80.3	86.2
平成19年度	86.3	87.1	87.0	82.5	87.7	85.2	86.6	86.1
平成20年度	97.8	95.1	88.4	86.0	87.5	85.0	85.0	89.3
平成21年度	98.6	95.5	94.9	89.5	87.2	85.1	83.2	90.6

(平成19年度は「四日市市子どもの家庭・学校生活実態調査」による)

#### ○ 学校図書館蔵書の状況

学校図書館の現状に関する調査	小学校	中学校
四日市市の蔵書数	382,895冊	212,695冊
四日市市の学校図書館標準冊数	378,000冊	241,920冊
四日市市の学校図書館の蔵書整備率	101.3%	87.9%
四日市市の学校図書館の図書標準達成校	40校中23校	22校中5校
学校図書館図書 標準冊数の達成率	四日市市	57.5%
	全国	42.0%
		22.7%
		36.8%

(四日市市の数値は平成21年度調査、全国の数値は平成19年度「学校図書館の現状に関する調査」による)

- 「1か月に1冊以上本を読む子どもの割合」から、小学校においては、図書館司書の活用や学校での日常的な読書活動推進のおかげで、わずかながら読書量の増加が見られます。しかし高学年になるほど、学習内容の増加やクラブ活動などにより読書時間の確保が困難です。
- 「学校図書館蔵書の状況」から、学校図書館図書標準冊数の達成率が低いこと、古い本が多く子どもたちが興味を持って図書に親しむ環境がなかなか整えられないことなどの課題が挙げられますが、図書館司書によるブックトークや読書支援、物流等を活用していきます。

### 今後の方向性

#### ○ 「学校図書館いきいき推進プラン」に基づいた学校図書館活性化の推進

- 学校図書館を、読書に親しむことができる「読書センター」として、また、問題解決能力を育成するための「学習情報センター」として位置づけ、学校図書館を学校教育活動の中核に据える意識を持って、二つの機能を一層高めるための取組を進めていきます。
- 学校図書館の活性化のために、学校図書館司書の配置を継続し、学校図書館ボランティアの協力を得て、各学校の司書教諭との協働を一層図っていきます。

### 第3章 四日市市が特色として進めてきたもの

#### ○ 学校・市立図書館・地域・家庭が一体となった読書活動の推進

- ・ 「四日市市子どもの読書活動推進計画」の方針に掲げられる、「子どもたちの身近に本があり、人がいる風景」を整えるために、学校だけではなく、市立図書館・地域・家庭も一緒になって、子どもの読書活動を進めていきます。

### 主な取組状況

#### ○ 朝の読書

始業前、約10分間の読書を行う「朝の読書」は、市内の全小中学校に定着してきました。年々読書好きの子が増え、読書の習慣が身につく、学校生活を落ち着いて過ごす子どもが増えてきています。

#### ○ 家庭読書推進や授業支援のためのブックトーク（\*）

読書意欲の喚起を図り、家庭読書推進や授業支援を目的として、子どもたちの実態や学習内容に合わせたテーマに基づいて、図書館司書を中心に各校でブックトークが実施されました。

\*ブックトーク：一定のテーマを決めて、一定時間内に何冊かの本を複数の聞き手に紹介すること。

#### ○ 効果

- ・ ブックトークをきっかけとして、子どもたちの読書意欲が高まり、紹介した本のシリーズがたくさん貸し出されるようになった。
- ・ 普段、物語の書架しか関心のなかった子どもたちが、科学読み物のブックトークを新鮮に受け止め、図鑑や科学読み物を借りるなど、読書の幅の広がりが見られるようになった。
- ・ 国語科の学習進度に合わせて、同じ作者の本を紹介するブックトークを担当と図書館司書が相談し実施したところ、作品世界を深く読み味わうことができ、学習の深まりが見られた。
- ・ 環境学習の調べ学習をする際に、身近なゴミ問題から地球の環境問題につながる本を紹介するブックトークを実施したところ、調べ学習に意欲的に取り組む姿が見られた。
- ・ ブックトーク実施日に、家庭に持ち帰った「本はともだち」の図書館便りが保護者に好評で、「親子読書のいいきっかけになった。」との声が届いた。

#### ○ 「学校図書館いきいき推進事業」による学校図書館司書の配置

平成17年度から、学校図書館の活性化と子どもたちの読書活動の推進を図るため、市内の小・中学校62校に、週1日、専門的な知識を持つ学校図書館司書を配置し、各学校の司書教諭や、図書館担当者、ボランティアの活動を支援しています。

司書派遣も5年目に入り、館内が整備され、新刊本やおすすめ本の紹介、図書館祭りの企画などが充実し、子どもの図書室の利用が増えています。また、教科学習における調べ学習等に必要となる書籍（資料）の適切な準備や、その活用への助言により、学習情報センターとして機能が高まっています。

司書教諭やボランティアが進める日常的な活動に対し、専門的立場から司書が助言をすることで、図書館運営の一層の活性化が進められています。

#### ○ 学校図書館ボランティア

学校図書館ボランティアの協力を得て、子どもの読書活動の推進を行っています。特に小学校では、ほとんどの学校でボランティアが活動し、子どもの読書活動が年々充実し、開かれた学校づくりにもつながっています。

（全国の数値：平成19年度「学校図書館の現状に関する調査」による）

協力を得ている 学校数	全国の状況（平成19年度）		四日市市の状況（平成21年度）	
	学校数	割合	学校数	割合
小学校	15,834	72.4%	38	95.0%
中学校	1,873	18.7%	5	22.7%